

令和3年度第1回庄原市「学びの变革」推進協議会 兼 庄原市研究主任研修会

「本市児童生徒の『主体的な学び』を促進する教育活動を推進するとともに、学校全体での組織的なカリキュラム・マネジメントの実現に取り組むことにより、児童生徒の資質・能力の向上を図ること」を目的に、研修会を行いました。

【講話・交流】「研究主任の役割について」

庄原市教育委員会 指導主事 片山 博子



- 研究主任として、研究推進計画の立案・実施・まとめ、研究推進に係る連絡調整・体制づくりを行うこと。
- 校内授業研修会では、実際の児童生徒の姿をもとに、指導が適切であったか、授業仮説が実態に合っていたかなど、十分に協議する必要がある。

【交流での意見等】

- ◆年間で計画している研究授業における課題を次の研究授業に生かして、研究を「線」としてとらえることが大切である。

【講話・協議】「研究協議の充実に向けて」

庄原市教育委員会 指導主事 片山 博子

「授業研究に関する課題」

- 研究協議会が形式化し、協議が深まらない。
- 学校の授業研究のテーマに関する教職員の意識に課題がある。
広島県教育センターアンケートより



- 研究協議の充実に向け、協議の場をデザインしていく一つの手法として、独立行政法人教職員支援機構ホームページより、「授業モデルを活用した校内研修を拓く～『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて～」と題したブックレットの紹介を行った。
- ブックレットのワークページにある、授業モデルを用いて、児童生徒の発言や記述をもとにした協議をグループで行った。児童生徒の学びの姿から、単元や本時における指導者の手立て等について分析を行った。

【講話・演習】「主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善について」

庄原市教育委員会 指導主事 片山 博子



- 新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善が求められている。
- 演習では、生徒会活動の2種類のシナリオ、1と2について比較し、それぞれの指導の工夫について出し合い、その工夫を生かした生徒会活動3をグループで作成した。
- 作成後、各グループの生徒会活動の単元計画を交流し、その工夫を自身の教科へどのように取り入れられるか、振り返りを行った。

【協議】『本質的な問い』『単元構想シート』の活用について

庄原市教育委員会 指導主事 片山 博子

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善には「単元を構想する力」を身に付ける必要がある。「本質的な問い」は児童生徒の深い学びを促すための授業改善の手立ての一つである。
- 「本質的な問い」「単元構想シート」を活用する上での各校の実態についてグループ交流を行った。



【効果的な点】

- 「本質的な問い」「単元を貫く問い」「個別の問い」のつながりを授業者が意識することで、大切なことがぶれない。
- 生徒に「見方・考え方」の視点を明確に示すことができる。
- 教科間で指導内容等が共有でき、自分の教科に生かすことができる。
- 教科・領域を学ぶ意義を理解できる。

【難しい点】

- 「本質的な問い」を活用している具体的な姿がなかなかイメージできない。
- 教科や単元によっては「本質的な問い」の設定が難しい。必然性を毎回もたせることも難しい。
- 「本質的な問い」を作成したが、「これでよいのか」正解が分からず不安になる。自分が作成した「単元構想シート」を協議する機会がもてていない。

【講話・演習】『本質的な問い』の考え方を踏まえた授業改善について

広島県教育委員会義務教育指導課 指導主事 藤本 哲平



- 演習では、これまでの課題発見・解決学習の単元計画を用いて、単元を通して身に付けさせたい資質・能力を意識しながら、「単元を貫く問い」を考えた。児童生徒が各教科の「見方・考え方」を働かせ、深く考えるような「単元を貫く問い」を立てることが求められる。
- 「本質的な問い」を立てることで、単元を貫く問いや個別の問いを見つめ直すことが大切である。
- 「本質的な問い」に正解があるとすれば、授業での子供の変容、子供の姿の中にあるのではないか。

【参加者の感想等】

- ◆深い学びをしている生徒の具体的な姿をイメージし、それが表出している部分やそのための工夫や手立てについてしっかり協議を行っていく。そのために、協議の中で議論してほしいポイントを明確にしていく。
- ◆研究主任や「学びの変革」担当者と交流することができ大変勉強になった。「本質的な問い」については今年度より、学習指導案に明記するようにしているが、研究を進める中で迷うことが多くあった。「本質的な問い」は問いの正解・不正解を求めるのではなく、問いを考えていくことが児童の深い学びにつながるということを学べたので、深い学びという視点で「本質的な問い」を考えていきたい。
- ◆他校の先生方と交流することで、他校の取組内容や先生方のアドバイスや考えをもらうことができ、大変充実した会であった。コロナ禍で、集合する機会が少なくなったが、実際に会って話すことの大切さを感じた。
- ◆改めてなるほどと思うことの多い研修であった。自校の職員と共通認識を図って研修を進めていきたい。